

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	環境配慮型設備投資促進利子補給事業		<b>担当部局庁</b>	環境省総合環境政策局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成21～22年度		<b>担当課室</b>	環境経済課		環境経済課長 正田 寛		
<b>会計区分</b>	一般会計、エネルギー対策特別会計		<b>施策名</b>	8-1 経済のグリーン化の推進				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	環境配慮促進法 (第4条、第5条)		<b>関係する計 画、通知等</b>	環境基本計画				
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	金融機関が行う環境に配慮した事業者に対する融資制度のうち、地球温暖化対策に係る設備投資のための融資を受ける事業者に対し利子補給を行うことにより、地球温暖化対策設備投資を促進すると共に、環境格付融資の普及拡大を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	3年間でCO2排出量6%削減等の意欲的な目標を誓約した事業者の地球温暖化対策設備投資について、環境格付融資を行う金融機関を通じ、2%(貸付利率を上限)の利子補給を3年間行う。 環境格付融資とは、金融機関が事業者の環境配慮の取組を審査・評価し、その評価結果によって金利を段階的に変更する融資制度であり、より積極的に環境に取り組んでいる企業ほど低利な融資が受けられる。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予 算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	6,000	1,000	0		
		繰越し等	—	0	0	0		
		計	—	6,000	1,000	0	0	
	執行額	—	6,000	1,000				
	執行率(%)	—	100%	100%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	成果目標は、環境格付を通じた融資の普及拡大。 成果実績は、対象事業融資額。		成果実績	百万円	—	159,352	10,515	—
			達成度	%	—	—	—	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	利用金融機関数		活動実績 (当初見込み)		—	31	9	— ( ) ( )
<b>単位当たり コスト</b>	—(円/)		算出根拠	融資の貸付利率を上限に2%の利子補給を行っている。 環境格付を通じた融資の普及拡大については、定量的に把握することは困難なため、単位当たりコストを算出することは困難である。				
<b>平成23・24年度 予算内訳</b>	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計	0	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業においては、当該融資事業の交付要綱に基づき、基金の適正かつ公正な管理・運営、事業者の補給金の適正な執行の管理及び融資機関の当該融資業務の検証が実施されている。</p> <p>融資先の事業によるCO2削減実績の把握については、基金設置法人である(財)日本環境協会策定の「環境配慮型設備投資促進利子補給金交付に関する事務取扱要領」の規定に基づき提出される「事業状況報告書」により、同協会において毎年定期的に行っている。</p> <p>平成22年度補正分は、基金設置法人に対して交付が完了している。</p> <p>基金設置法人にて、利子補給対象案件を審査・採択しており、順次、利子補給を行っている。</p> <p>平成23年1月に交付決定を開始したため、現時点の交付決定数は少ないが、今後も基金において効率・適正な執行がなされるよう努めるとともに、本事業における設備投資の促進効果、二酸化炭素の排出削減効果を把握・検証し、今後の政策立案に活かしていきたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止		当初の目的を達成したため、事業終了。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成22年度限りで廃止とする。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

環境省  
1,000百万円



【補助】

A. (財)日本環境協会  
1,000百万円

( 利子補給 )



環境配慮型設備投資促進利子補給基金  
1,000百万円

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

A.(財)日本環境協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
交付金	利子補給	1,000			
計		1,000	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	(財)日本環境協会	基金の適正かつ公正な管理・運営、事業者の補給金の適正な執行の管理及び融資機関の当該融資業務の検証を実施	1,000	1	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					